

重要な構成要素 そのだしんぶつぐてん「園田神仏具店」

建築：大正期

参道の景観を構成する要素

「園田神仏具店」は、神仏具を販売する木造2階建ての店舗です。明治初期から仏具屋を営んでいます。小規模平入り^{ひら}(注)の建物の建築年代は不詳ですが、建築的な特徴から大正期のものと考えられており、外観からもその時期のものであることがうかがえます。目立った改修も行われていません。

参道側を開け放ち、開放的な軒庇下に商品が陳列され、対面での販売が行われています。参道側の外観は、ファサードが連続した参道において、屋根、庇^{ひさし}などのまちなみの表情を作る要素によって賑わいを演出しています。

(注) 建物の大棟に平行な面、すなわち平に出入口を設ける建築形式。また、平を正面に向けるもの。(広辞苑第七版)



昭和 40 年代（帝釈天題經寺提供）